

令和 7 年度 第 1 回高根沢町総合教育会議 会議録

会議の日時	令和7年6月18日（水） 開会 午後1時30分 閉会 午後3時30分	場 所	高根沢町教育委員会事務局 （仮庁舎）会議室	
出席者の氏名	神林 秀治（町長） 野中 直子 中野 謙作 齋藤 君世 佐藤 豪男 坂本 美知夫（教育長）	説明員及び書記氏名	(学校教育課) 課 長 加藤 敦史 給食センター所長 林 博志 課長補佐 小林 賢治 係長兼指導主事 村上 浩史 主事（書記） 細谷 光司 (こどもみらい課) 課 長 齋藤 雅人 課長補佐 岩本 紀男 (生涯学習課) 課 長 石嶋 良憲 課長補佐 赤羽 康弘 係長兼社会教育主事 兼指導主事 野尻 友香	
欠席者の氏名				
会 議 次 第				
1 開 会				
2 町長あいさつ				
3 議 題				
(1) 高根沢町教育大綱・教育振興基本計画（案）について				
(2) 重点施策について				
①英語教育の充実				
②不登校対策・支援の充実				
③学校部活動の地域移行				
④保育園・幼稚園発達支援訪問事業				
(3) その他				
4 閉 会				

議 事 の 経 過

学校教育課長	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、総合教育会議を開催します。 はじめに、町長よりご挨拶をお願いいたします。
町長 (挨拶)	4月に町長に就任させていただき、これから教育委員の皆様とともに、町政はもとより高根沢町の教育行政について、しっかりと進めていきたいと考えております。本日は高根沢町教育大綱・教育振興基本計画のほか、重点施策等についてご協議いただければと思います。子ども達にとってのよりよい教育環境の整備を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
教育長	議事録署名人に中野委員、書記に学校教育課細谷主事を指名します。 はじめに、議題(1)高根沢町教育大綱・教育振興基本計画(案)について、事務局から説明します。
学校教育課長	【説明要旨】 ・教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、国の計画を参酌するとともに、町の最上位計画である地域経営計画等との整合を図りながら、総合教育会議において協議して策定するもの。 ・主な協議事項は、①教育行政の基本理念・基本方針について、②学校教育分野について、③社会教育分野について、の大きく3点。
教育長	事務局からの説明が終わりました。大きく3点について、皆様からご意見をいただければと思います。まず1点目については、前回教育委員会定例会でご指摘がありました「基本理念」の文言・表現について、事務局の修正案を参考にご意見を願います。
野中委員	当初案の「町民を育てます」の文言は、学校教育・社会教育のうち、社会教育の中の「ひとづくり」「人とつながる」という表現とのミスマッチがあるのではないかと感じたため指摘しました。社会教育では、地域で人が共に育っていくイメージがありますので「人が育ちます」といった文言ではどうでしょうか。
齋藤委員	「育てる・育つ」とは視点の置き方を変えて、「(未来を創造する)時を届けます」なども考えられると思います。
中野委員	事務局案の中から「人材」の文言を使って、「人材を育みます」に修正するのがいいのではないのでしょうか。
佐藤委員	大きく文言を変えると全体の内容も修正しなければならないような影響が出てしまいますので、私も「人材を育みます」がいいと思います。
齋藤委員	「人材を育みます」の文言が腑に落ちました。

議 事 の 経 過

野中委員	「育みます」は、「育成します」よりもイメージが柔らかくていいと思います。 また、「人材」についても、「人」という表現よりも、大きくイメージできるのでいいと思います。
町長	次期経営計画の基本政策（案）である「次代の担い手を育むまちづくり」という文言との整合を考えると、「人材を育みます」の文言が合致するのではないかと考えます。
教育長	それでは、教育行政の基本理念につきましては、内容は変えずに文言を1ヵ所修正することとし、「ふるさとの自然と文化を愛するとともに、人とのつながりを大切にし、心豊かでたくましく、未来を創造する人材を育みます」といたします。 続きまして、2点目の「学校教育分野」について、委員の皆様のご意見をお願いします。
佐藤委員	「学校教育の基本目標」の文中にある「(人間性の) 涵養」という表現は、あまり一般的ではないので、分かりやすい言葉に置き換えてもいいのではないかと感じました。
教育長	この部分は、国の「学習指導要領」からの引用であり、一部だけ変えると誤表記だと受け取られる可能性がありますし、学校にも周知されている大切な考え方ですので、そのままの文言としたいと思います。
中野委員	資料上は注釈を付けて対応してもいいと思います。
教育長	注釈の表記については事務局で対応してください。 続きまして、3点目の社会教育分野についてご意見をお願いします。
	(特になし)
教育長	それでは、本日の意見をもとに、高根沢町教育大綱・教育振興基本計画の策定を進めてまいります。 次に、議題（2）重点施策についてです。町長から4つの議題が提示されていますので、それぞれ担当課から順に説明していきます。
学校教育課長	【説明要旨】 ① 英語教育の充実 ・英語力向上推進事業費について、小学校外国語活動・外国語科の指導体制について、英検3級相当以上の生徒の人数・割合について説明
教育長	それでは、①英語教育の充実について、ご意見をお願いします。
中野委員	英検3級相当以上の生徒の人数・割合についてですが、他市町の調査結果は分かれますか？

議 事 の 経 過

学校教育課長	他市町の個々の結果は把握していませんが、県内平均については資料のとおりです。令和5年度の高根沢町の結果は、県内平均 40.1%とほぼ同じ 40.3%で、少し上の数字となっています。
中野委員	中学1年時点での英語の理解度が生徒によって非常に両極端で、分からない子はそのまま3年まで差が開いたままになってしまいがちなため、何か対策を講じる必要があると思っています。
町長	中学1年時点での英語の理解度が生徒によって差があることに対してはどういった対策が有効だとお考えでしょうか。また、小学校より前から、幼児教育の段階でALTや英語教育を導入していくことについてはどうお考えですか？
中野委員	指導する先生の役割や技術の問題もあるかと思いますが、内容も考えていく必要があると思います。
齋藤委員	第二幼稚園を例にお話しますと、20年位前は外国人の先生が来ていましたが今は実施していません。幼児期は人生の「原風景」を作っていく時期です。遊びや好きな食べ物、好きな色、どんな景色や四季を感じたかということが、その子の「育ち」として、将来、英語を使って話したり、コミュニケーションしたりするときに必要になってくる大切な要素ですので、ALTや英語教育よりも、まずはそこを重視しています。
佐藤委員	英語教育よりもまずは日本語力、読解力が必要という見方もあると思います。
教育長	個人的な意見としては、幼児期に必要な指導が国語力なのか、英語力なのかは難しい問題だと思います。数学者の藤原正彦さんも著書の中で、考える力を醸成するには国語力が必要であることや、日本語教育の重要性を提言しています。
野中委員	学童保育の中では、子ども達の言葉遣いが気になっています。また、国語力や読解力がなければ算数の問題も解けないということを実感しています。
齋藤委員	英語力の向上については、ALT・JTEの配置が確実に効果を上げていると思います。外国の方が気持ちよく仕事に向き合えるようサポートできるマニュアル等があればいいなと思いました。
教育長	町長から、英語力向上に力をいれていきたいというお話もいただいておりますので、これまでの考え方にとらわれず、本町の課題を踏まえながら、更なる英語力向上のために何が必要であるか検討し、取り組んでいきたいと考えています。
町長	学校教育の基本目標2に掲げている「安心して楽しく学べる学校」を実現できるよう、子ども達が「楽しく」学んでいける英語教育を目指していきたいと思っています。
教育長	続きまして、不登校対策・支援の充実について、事務局から説明します。

議 事 の 経 過

学校教育課長	【説明要旨】 ② 不登校対策・支援の充実 ・不登校児童生徒数の推移について、ひよこの家運営事業費・児童生徒多様性支援事業費（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置、校内教育支援センターの開設、家庭訪問型学習支援事業等）について説明
教育長	それでは、②不登校対策・支援の充実について、ご意見をお願いします。
中野委員	平成 15 年度の開設当初から、表面的な学校復帰を目的としていない「ひよこの家」は全国モデルであり、家庭訪問型学習支援事業や、スクールソーシャルワーカーの関わりを含めた対策・支援は全国でもトップレベルの取組だと思います。今後、在宅の子ども達がますます増えていく中で、また、出席率という言葉が必要なくなっていくようなことも想定される中で、どうやって学習機会を保障していくのが重要になってくると思います。
齋藤委員	児童生徒全員がタブレットを持っている状況にあるので、長期間の不登校に対して、学びを保証し継続していくために、タブレットを活用することのできる仕組みを整えておくことが必要だと思います。特に、学習だけでなく、人との関わりの部分がオンラインでできるといいのではないのでしょうか。
町長	人との関わりの部分をどうサポートしていくかは難しい課題ですが、しっかり取り組んでいきたいと思います。
教育長	続きまして、学校部活動の地域移行について、事務局から説明します。
生涯学習課長	【説明要旨】 ③ 学校部活動の地域移行 ・本町における学校部活動の地域移行に係る検討経緯、今後のスケジュール、移行に係る主な不安や懸念等について説明。
教育長	それでは、③学校部活動の地域移行について、ご意見をお願いします。
野中委員	昨年、文部科学省の研修に参加した際の「地域移行のグループ討議」での内容を、参考にお話ししたいと思います。 指導者確保の課題については、近年ダブルワークを認める企業も増えていることもあり、企業に働きかけて指導者を探している事例がありました。また、学校部活動の移行という考え方ではなく、学校の部活とは別の「土日のスポーツ活動」という捉え直しをすることで、2つを分けて考えるという事例もありました。人材や運営上の課題から、移行が難しいというのが共通の認識でしたが、スポーツクラブを主体に運営をお願いするなど、様々に取り組んでいるようでした。

議 事 の 経 過

佐藤委員	阿久津中学校、北高根沢中学校で1つ以上の部活動を順次移行とのことですが、今後の見通しはどのようになっていますか。
生涯学習課長	令和7年度の後半には各校1つ以上の部活動を移行していけるよう調整してまいります。指導者の報酬の課題などはまだ整理できておりません。
佐藤委員	先ほどの野中委員の話にあった「企業への働きかけ」を含め、型にはめずフレキシブルにあらゆる可能性を検討してほしいと思います。また、競技結果にこだわらない方向性の方が、子ども達にとって適切なのではないかと感じています。
生涯学習課長	指導者も含め、競技志向なのか、エンジョイ志向なのかについては、推進委員会の中でも議論されているところです。
町長	指導者の問題など、課題を1つ1つ解消しながら、子ども達にとって一番よい方法を見つけていってほしいと思います。
教育長	続きまして、保育園・幼稚園発達支援訪問事業について、事務局から説明します。
こどもみらい課長	【説明要旨】 ④ 保育園・幼稚園発達支援訪問事業 支援を必要とする子育て家庭へのサポート体制の充実について、こどもみらい課に配置された「公認心理師」の保育園・幼稚園への訪問、保健センターの「早期発達支援事業」、民間で開設した「児童発達支援センターいちご」との連携、幼少連携の充実等について説明。
教育長	それでは、④保育園・幼稚園発達支援訪問事業について、皆様からのご意見をお願いします。
野中委員	早期に対応を始めていくことが大事ですので、このサポート体制が各園に対してしっかり実施されていくといいと思います。
齋藤委員	この事業は、現場にとっても効果的な取組になると思います。これまでは、町外の機関に療育相談に行くことがほとんどでしたが、これによっていち早くスピード感を持って対応ができると思います。また、どのように療育等につなげていくか、現場での悩みに専門家が寄り添っていただけるのは大変心強いと思います。
中野委員	こういった支援が必要なお子さんの情報は、その後申し送り等がされているのでしょうか。
齋藤委員	児童の記録については、就学の際に必ず小学校へ引き継ぎされています。また、高根沢町は幼小連携が充実していますので、園と小学校との「やりとり」や「つながり」が更に深まってきています。
町長	町内の園を巡回するのにはどれくらいの期間がかかる想定でしょうか。

議 事 の 経 過

こどもみらい 課長	まずは、要望があったところに、園の都合に合わせて訪問していく想定をしています。
町長	児童発達支援センターいちごとの効果的な連携に取り組んでもらえればと思います。
教育長	次に、議題（３）その他についてですが、学校規模適正化について協議したいと思います。今年度あらためて計画案の策定を進めていきますので、昨年度の教育委員会内部での検討や計画策定延伸の経緯について、それぞれ委員から発言いただき、現状の共通認識を確認した上で、来月以降の検討をスタートしていきたいと考えています。
野中委員	計画素案の公表後、私達委員も参加して公聴会を実施し、教育委員会定例会の中で検討を進めてきましたが、子ども達にとってのよりよい教育環境を整えてほしいというのが保護者の願いであるということ、よりよい環境としては多くの人と関われる規模やクラス替えができる環境が望まれていることが認識できました。なるべく早く、その環境を実現していく必要があると感じています。
中野委員	上高根沢小学校の小規模特認校制度をどうしていくかと合わせて、早急に考えていく必要があると思います。
齋藤委員	児童生徒数の減少は確実に進んでいますので、早急に子ども達にとっての学びの環境を整える必要があると思います。また、上高根沢小学校で育まれた教育の伝統や文化を終わらせるという考え方ではなく、ほかの学校に広げていくイメージを持って考えていきたいと思います。
佐藤委員	今回、次期の「高根沢町教育大綱・教育振興基本計画」を検討していますので、あらためて計画を検討するのにはちょうどいい時期だと思います。少しでも理想に近づけられるような方法を考えていきたいと思います。
町長	学校規模適正化につきましては、計画の素案を公表してから１年以上が経っていますので、令和７年度中には、新たな計画を策定したいと考えております。教育委員の皆様からご意見をいただきながら、今後の協議を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。
教育長	ありがとうございました。そのほか特にないようであれば、以上で議事を終了いたします。 以上をもちまして総合教育会議を閉会いたします。

議 事 の 経 過

令和7年 月 日

議事録署名人

教育委員会委員
